

各 位

公益社団法人 全日本病院協会  
会 長 西 澤 寛 俊  
医療の質向上委員会  
委員長 飯 田 修 平  
一般社団法人 日本品質管理学会  
会 長 椿 広 計  
医療経営の総合的「質」研究会  
主 査 永 井 庸 次

**平成28年度第1回医療機器安全管理講習会**  
**—医療現場における生体情報モニタ、ナースコールの現状と課題について—**  
**開催のご案内**

平素は、本会事業に、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、医療機器安全管理講習会として昨年に続き2回目の「医療現場における生体情報モニタ、ナースコールの現状と課題」に関する講習会を企画しました。

アラーム、特に、生体情報モニタに関連する医療事故が散見されます。米国でも、患者安全に関する懸念事項の第一にアラームが上げられており、米国患者安全目標（NPSG）では、本年年1月までに医療機関に院内アラーム信号の管理方針・手順の仕組みの構築の完了を要求していたところです。

当協会医療の質向上委員会は、日本品質管理学会の医療経営の総合的「質」研究会とともに、この数年、生体情報モニタ、ナースコールの現状とその課題を検討してきました。その内訳は①2病院で生体情報モニタに関する偽アラーム防止対策を含めた病棟看護師等への教育効果を検討、②日本医療研究開発機構の研究開発委託「地域横断的な医療介護情報のICT化により、世界最先端の臨床研究基盤等の構築を加速するための研究」（研究開発代表者：奈良県立医科大学・今村知明）の一環として、名札型赤外線センサ（ソシオメトリー）を用い、そのデータと電子カルテアクセスログ、看護師行動チェック表を突合し、看護師動線を含めたアラームへの対応状況を検討、③同じく同事業によるナースコールの実態調査研究です。

その結果、生体情報モニタ装着の目的、アラームの精度（偽陽性・偽陰性）、偽アラーム減少対策を含むアラーム対応体制構築、偽アラーム減少対策の有効性、“まあいいか”（不遵守）を含めた教育内容の見直し、ナースコールの対応状況など、課題が多く見られました。

医療機器安全に関する状況は2014年の改正薬事法（医薬品医療機器等法/薬機法）、昨年10月の医療事故調査制度の施行とともに、大きく変革しつつあり、医療界全体で生体情報モニタ等の対策を推進するとともに、ベンダーなどの産業界や品質管理専門家との協働が必要です。

本講習会では、医療、産業、品質管理各々の立場から、研究参加病院の取り組みと共に米国の取り組みを含め生体情報モニタ、ナースコールの現状と課題について、参加者と共に討議し、今後の方向性を検討します。

参加対象として、病院管理者、医療安全管理者・専従者、医療機器安全管理者・専従者、臨床工学技士、生体情報モニタ、ナースコールを日頃取り扱う病棟看護師長・看護師の皆様を考えております。

関係職員のご参加について、ご高配の程、宜しくお願い申し上げます。

【記】

1. 主催：（公社）全日本病院協会
2. 共催：（一社）日本品質管理学会
3. 開催日時：平成 28 年 8 月 18 日（木）13:30～17:00
4. 会場：「全日本病院協会（大会議室）」（別添 1 案内図参照）  
東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル 7 F  
JR 総武線・都営三田線「水道橋」駅下車 徒歩 4 分  
TEL：03-5283-7441 FAX：03-5283-7444

5. プログラム（予定・一部変更の可能性あり）：

開始	終了	概要	講師・演者（敬称略）
13:30	13:35	開会挨拶	調整中
13:35	13:40	産業界から見た医療アラームの問題点	JUKI（株） 最高顧問 山岡 建夫
13:40	14:00	病院トップマネジメントから見た医療アラームの問題点	練馬総合病院 院長 飯田 修平
14:00	14:15	ひたちなか総合病院のナースコール対応の実態と安全対策	ひたちなか総合病院
14:15	14:30	練馬総合病院のナースコール対応の実態と安全対策	練馬総合病院
14:30	14:40	休憩	
14:40	14:55	名札型赤外線センサから見たアラーム対応不遵守の実態	ひたちなか総合病院 院長 永井 庸次
14:55	15:10	生体情報モニタアラームに関する米国の取り組み状況	日本光電工（株）
15:10	15:20	ナースコールの履歴管理とその活用	アイホン（株）
15:20	15:40	質管理の観点からのアラームの問題点の整理（アラームの必要性）	中央大学理工学部経営システム工学科 教授 中條 武志
15:40	15:55	ひたちなか総合病院のアラーム対応改善計画と教育	ひたちなか総合病院 岡崎 健一
15:55	16:10	練馬総合病院のアラーム対応改善計画と教育	練馬総合病院 栗原 直人
16:10	16:20	休憩	
16:20	16:55	総合討論	
16:55	17:00	閉会挨拶	練馬総合病院 院長 飯田 修平

6. 参加料：会員 10,000円（税込10,800円）  
非会員12,000円（税込12,960円）  
（資料代を含みます。）
7. 定員：150名
8. 申込方法：①申込用紙（別紙2）に必要事項をご記入し FAX（03-5283-7444）お申し込み下さい。  
②おって「確認書・参加費お振込のご案内」を FAX でお送りします。送付された案内をご確認のうえ、参加費を指定期日までにお振込ください。  
※定員を超えている場合には事務局よりご連絡いたします。
9. 締切日：平成28年8月8日（月）（定員に達し次第、締切となります）
10. 取り消し：参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。  
資料の発送をもってかえさせていただきます。
11. お問い合わせ：(公社)全日本病院協会事務局 医療安全担当  
東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F  
TEL：03-5283-7441 FAX：03-5283-7444
12. その他：ご宿泊、交通につきましては各自ご手配願います。  
参加者の個人情報、適切に処理し、本研修の目的以外には使用しません。

< 別紙 1 >

会場案内図



研修会名：平成28年度第1回医療機器安全管理講習会

—医療現場における生体情報モニタ、ナースコールの現状と課題について—

日 時：平成28年8月18日（木）13:30～17:00

会 場：（公社）全日本病院協会大会議室

JR 総武線・都営三田線「水道橋」駅下車 徒歩4分

東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F

TEL:03-5283-7441 FAX:03-5283-7444

< 別紙 2 >

平成 2 8 年度第 1 回医療機器安全管理講習会  
—医療現場における生体情報モニタ、ナースコールの現状と課題について—  
**参加申込書**  
<申込締切 8月8日(月)>

下記事項をご記入のうえ、F A Xにてお送りください。

F A X 0 3 - 5 2 8 3 - 7 4 4 4

※楷書にて正確にご記入ください

病院名			
住 所	〒 —		
T E L	( ) —		
F A X	( ) —		
メールアドレス			
参加者	氏 名	職 種	所属部署・または、役職



事務連絡担当者(1名)に『O』を付してください。

【申込書送付先・問合せ先】

公益社団法人全日本病院協会事務局 (担当:長戸・上田・松村)

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

(TEL受付時間:平日9:30~17:30 土日祝を除く)

※研修会申込者の個人情報は、本研修会の実施に関する目的にのみ使用いたします。

※受付受理後、「確認書・参加費お振込のご案内」をF A Xにてお送りいたしますので、送付された案内をご確認のうえ、参加費を指定期日までにお振込ください。